

暴風雪に備えて

宗谷地方もいよいよ本格的な冬の季節を迎えました。今回は、「暴風雪」についてのお話をします。

暴風雪に伴う災害は、猛ふぶきによる視界不良、吹きだまりによる交通障害や歩行困難、暴風による飛散物での家屋等損壊、停電などがあります。北海道では、図のように暴風雪災害が繰り返し発生しています。ここ数年で最も被害が大きかったのは、平成25年3月2日～3日の災害で、道東で9名の方が亡くなり、500台以上の車が立ち往生しました。

気象台では、内陸の広い範囲で風速20メートル以上の暴風雪が予想される場合は、「数年に一度の猛ふぶきとなるおそれがあります。外出は控えてください」のキーワードを用いた「見出し」のみの気象情報を発表し、嚴重な警戒を呼び掛けることがあります。

こうした「数年に一度の猛ふぶき」のキーワードを用いる場合は、2～3日前から段階的に防災気象情報を発表し注意・警戒を呼び掛けます。

暴風雪災害は、晴天から悪天へと天気が急変したときに特に多く発生しています。暴風雪が予想される場合には、今の天気が良くても油断することなく、最新の気象情報や道路情報などを事前に十分確認してから行動するようにしましょう。



お問い合わせ先：稚内地方気象台 電話：0162-23-2679

地域おこし協力隊通信

vol.36

あたたかい部屋と布団が恋しい季節になりました。皆さま、お元気でしょうか？ 地域おこし協力隊の青柳です。

夏の間溜まった疲労に天候不順が続く、体調をくずされる方も多いようです。どうぞご自愛くださいませ。

協力隊就任以来3年目を迎え、残すところ任期が約4カ月となりました。現在の業務は5月1日にオープンした、幌延駅舎内ホロカル(移住情報PR支援センター)での観光案内、コーヒー販売、町民乗車票・グッズ販売などや、週に1回～2回、秘境駅・無人駅や湧水地のパトロール実施が主体となっております。

各駅では環境整備として清掃を行い、駅備品やホーム、外観の確認と駅ノートや利用客へ聞き取り調査などによる利用者調査をしています。無人駅を訪問されましたら、ぜひ、有志が提供する駅ノートに記入をお願いします。秘境駅ランキング53位の雄信内駅は、天塩町雄信内署の管轄であり、過去に備品盗難が発生したことから、雄信内署長さんが巡回・警戒を実施され、共同で作業を行うこともあります。見かけましたら、どうぞお声掛けください。

町の皆さまが稚内や名寄へ行かれる際は、お得な町民乗車票をぜひご利用ください。通常のキップは、お客さまとJR北海道さまの契約になりますが、乗車票はJR北海道さまと幌延町の企業契約になりますので取り扱いが異なります。ホロカルカウンターに備え付けの書面や券面に記載された事項をよく確認されて、お求めくださいませ。

お得な町民乗車票の制度が末永く続きますよう、皆さまのご協力をお願い申し上げます。



▲清掃後の上幌延駅